

令和5事業年度

決算報告書

第20期事業年度

自：令和5年4月 1日

至：令和6年3月31日

国立大学法人長崎大学

令和5年度 決算報告書

国立大学法人長崎大学

(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	16,409	17,311	902	(注1)
施設整備費補助金	281	598	317	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	1,213	1,649	436	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	9	9	-	
自己収入	36,855	39,848	2,993	
授業料、入学料及び検定料収入	4,740	4,873	133	(注4)
附属病院収入	31,585	34,257	2,672	(注5)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	530	718	188	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	6,819	9,442	2,623	(注7)
引当金取崩	836	936	100	(注8)
長期借入金収入	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	1,247	1,357	110	(注9)
引当特定資産取崩	-	-	-	
出資金	-	-	-	
計	63,669	71,150	7,481	
支出				
業務費	53,309	53,896	587	
教育研究経費	20,764	19,972	-792	(注10)
診療経費	32,545	33,924	1,379	(注11)
施設整備費	290	607	317	(注12)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	852	1,311	459	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	6,819	6,913	94	(注14)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	2,399	2,397	-2	(注15)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	63,669	65,124	1,455	
収入-支出	-	6,026	6,026	

○予算と決算の差異について

(注1)運営費交付金については、予算段階で見込んでいなかった基幹経費の追加交付があったことにより、予算金額に比して決算金額が902百万円多額となっております。

(注2)施設整備費補助金については、予算段階で見込んでいなかった施設整備費補助金の追加交付があったことにより、予算金額に比して決算金額が317百万円多額となっております。

(注3)補助金等収入については、予算段階で予定していなかった国立大学改革・研究基盤強化推進補助金等の交付があったこと等により、予算金額に比して決算金額が436百万円多額となっております。また、補助金等収入には、授業料等減免費交付金338百万円が含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。

(注4)授業料、入学料及び検定料収入については、予算段階の見込に比して在籍者数が多数であったこと及び授業料免除(新制度・独自制度)における適格者が少数であったことによる授業料収入の増等により、予算金額に比して決算金額が133百万円多額となっております。

(注5)附属病院収入については、高額注射薬剤の増加等に伴い、入院・外来診療単価が増加したことにより、予算金額に比して決算金額が2,672百万円多額となっております。

(注6)雑収入については、駐車場利用料、寄宿料等による収入の増及び予算段階で予定していなかった供託原因消失に伴う払渡等により、予算金額に比して決算金額が188百万円多額となっております。

(注7)産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究の受け入れ増加等により、予算金額に比して決算金額が2,623百万円多額となっております。

(注8)引当金取崩については、賞与引当金対象者の増加等により、予算金額に比して決算金額が100百万円多額となっております。

(注9)目的積立金取崩については、病院再整備に係る長期整備計画に基づく施設・設備整備及び移転事業の事業計画変更等により、予算金額に比して決算金額が110百万円多額となっております。

(注10)教育研究経費については、業務達成基準を適用した学内プロジェクトやミッション実現加速化経費事業による翌期繰越及び効率的な事業実施を行ったこと等により、予算金額に比して決算金額が792百万円少額となっております。

(注11)診療経費については、診療稼働の増加に伴う材料費及び医薬品費の増加等により、予算金額に比して決算金額が1,379百万円多額となっております。

(注12)施設整備費については、(注2)で示した理由等により、予算金額に比して決算金額が317百万円多額となっております。

(注13)補助金等については、(注3)で示した理由等により、予算金額に比して決算金額が459百万円多額となっております。

(注14)産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)で示した理由等により、予算金額に比して決算金額が94百万円多額となっております。

(注15)長期借入金償還金については、利率が見直され支払利息が減少したこと等により、予算金額に比して決算金額が2百万円少額となっております。